

## 保険適用希望のあった新規の検査項目の概要

### 区分E3（新項目）（測定項目が新しい品目）

#### ○シスタチンC精密測定

測定内容：シスタチンCは、体内で産生される低分子タンパク質の一種。体内での産生速度は一定であり、腎で分解されるため、腎機能の低下により、血清中の濃度が上昇する。血清中のシスタチンC濃度を測定することにより、腎機能を評価することができる。

対象疾患：糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症 等

#### ・ラテックス凝集比濁法

血清中のシスタチンCを抗シスタチンC抗体感作ラテックスと反応させ、抗原抗体反応による凝集形成を光透過量の変化として測定する方法。

#### ・金コロイド凝集法

血清中のシスタチンCを抗シスタチンC抗体結合金コロイド粒子と反応させ、抗原抗体反応による凝集形成を光透過量の変化として測定する方法。

#### ・ネフェロメトリー法

血清中のシスタチンCを抗シスタチンC抗体吸着ポリスチレン粒子と反応させ、抗原抗体反応により生じる凝集を光散乱の変化として測定する方法。

### 区分E2（新方法）（測定項目は新しくないが、測定方法が新しい品目）

#### ○レムナント様リポ蛋白（RLP）コレステロール

測定内容：レムナント様リポ蛋白は、血中の脂質を運搬するリポ蛋白の中間代謝物であり、動脈硬化の危険因子とされている。レムナント様リポ蛋白を測定することにより、動脈硬化性疾患のリスクを予見することができる。

対象疾患：高脂血症 等

- ・ 酵素法

血清中のレムナント様リポ蛋白を、界面活性剤及びホスホリパーゼDを用いて選択的に可溶化し、酵素反応により発色させ、吸光度計を用いて測定する。

(参考：既に保険収載されている測定方法)

- ・ 免疫吸着法－酵素法

血清中のリポ蛋白と抗ヒトアポA-I抗体・抗ヒトアポB-100抗体固定化混合ゲルを反応させ、レムナント様リポ蛋白以外のリポ蛋白を抗体に吸着させた後、残ったレムナント様リポ蛋白を酵素反応により発色させ、吸光度計を用いて測定する。